



「音楽を通して心から楽しめる場を創出し、人と人をつなげることが私たちの使命です。これからも、誰もがワクワクできる理想のまちづくりを続けていきます」

対談記事 ▶▶ 058_p



M-Lab HATCH / 株式会社 Turn On Lab

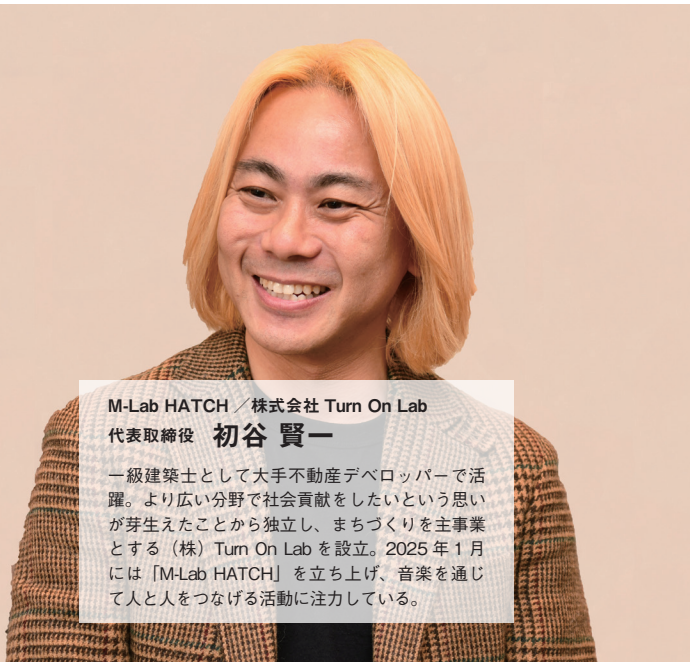
代表取締役

はつがい けんいち
初谷 賢一

取締役
音楽事業部長

はつがい たかし
初谷 敬史

一級建築士の兄と、音楽家の弟。それぞれの道を歩んでいた両雄がタッグを組み、立ち上げたのがミュージックスクール&スタジオの「M-Lab HATCH」だ。さまざまなレッスンやイベントが行われるクリエイティブな空間で2人が実現したいのは、人と人をつなげること。「ここを皮切りに、皆がワクワクできる場所を全国各地につくりたいんです」と語る兄・賢一氏に、「斬新な兄のアイデアを現場レベルに落とし込むのが私の役目です」と弟・敬史氏が呼応する。そんな2人がこの先、どんなまちづくりをしていくのか、期待は高まるばかりだ。



M-Lab HATCH／株式会社 Turn On Lab
代表取締役 **初谷 賢一**
一級建築士として大手不動産デベロッパーで活躍。より広い分野で社会貢献をしたいという思いが芽生えたことから独立し、まちづくりを主事業とする（株）Turn On Lab を設立。2025 年 1 月には「M-Lab HATCH」を立ち上げ、音楽を通じて人と人をつなげる活動に注力している。



M-Lab HATCH／株式会社 Turn On Lab
取締役 / 音楽事業部長 **初谷 敬史**
東京芸術大学を卒業後、指揮者・声楽家として活動。兄の賢一氏に声をかけられたことから「M-Lab HATCH」の事業に取締役兼音楽事業部長として参画する。音楽教室の講師を務めながら、兄の斬新なアイデアを現実にし込むディレクター的な立ち位置も担っている。

ミュージックスクール&スタジオで夢実現 建築家と音楽家、兄弟の新しいまちづくり

東京都・目白のミュージックスクール&スタジオ「M-Lab HATCH」は、建築家の初谷賢一氏と音楽家の初谷敬史氏の兄弟がつくった、訪れる誰もがワクワクできる場所だ。新しいまちづくりへの挑戦に人生をかける 2 人に、ミュージシャンの鶴久政治さんがインタビューした。

Guest Comment>>



鶴久 政治（ミュージシャン）
「ワクワク場づくりのプラットフォーム」を掲げていらっしゃるお二人だけあって、対談を通してエネルギーに事業の構想や展望を語ってくださり、聞き手の私まで思わず心が躍りました。今、音楽業界にはどこか疲れていて元気がない人もいますが、お二人ならきっと大丈夫。これからの日本をもっと勢いづけてくださることを願っています！

音楽で地域社会に開かれた活動を

鶴久 2025 年 1 月にミュージックスクール&スタジオの「M-Lab HATCH」を立ち上げた（株）Turn On Lab さん。お二人はご兄弟だそうですね。一緒に事業を始められた経緯からお聞かせください。
初谷（賢） 私は一級建築士で、これまで建築や不動産に関わる仕事に携わってきました。お客様のお困り事を解決したり、ご相談に応じたりする中で、感謝をしていただく機会も多く、「こういう方々のためにもっと幅広く仕事をしたい」と思ったことから、まちづくりを主事業とする当社を立ち上げたんです。「M-Lab HATCH」は当社の音楽事業という位置

付けで、心から楽しめる音楽の場を創出し、街の皆んなをつないでいくことをコンセプトにしています。
初谷（敬） 私は音楽家として、地域社会でさまざまな音楽活動をしてきましたが、兄に誘われてディレクターを引き受けました。それまでは建築家と音楽家、兄弟で別々の道を歩んでいると思っていましたし、実際に仕事上で交わることもありませんでした。ですが、兄から「M-Lab HATCH」のアイデアを聞いて、これなら一緒にできるなど。
初谷（賢） 地域社会に開かれた活動ができないかとずっと思案していて、ある時「そうだ、弟がいるじゃないか」と気付いて声をかけるに至ったんです。

鶴久 それぞれの分野で活躍されていたお二人が、「音楽を通じたまちづくり」という 1 つの目的のために満を持してタッグを組まれたのですね。
初谷（敬） はい。ちなみに、実は幼少期に私より先に音楽を習ったのは兄のほうだったんですよ。4 つ年下の私もいずれ習いに行けると楽しみにしていたのに、結局かなわず——その代わりに私は当時、1 人部屋にこもってお城や城下町の設計図を描いていたという（笑）。
鶴久 幼少期の原点と職業選択があべこべだったわけですか。さすがは兄弟、おもしろいエピソードです！

道行く人が足を止め立ち寄る場に

鶴久 ここからは「M-Lab HATCH」について詳しくお聞きしましょう。目白駅のすぐそばにあって、利用しやすいスタジオですね。室内も通路と部屋の間がガラス張りでとても開放感があります。
初谷（賢） ありがとうございます。できるだけ明るく開放的な空間にすることを意識して設計しました。普段は声楽やボイストレーニング、器楽、作曲、リトミックなどのコース別に音楽教室を開く一方、同じ部屋をレンタルスペースとしても運用しています。室内の音響が豊かで目的に応じた楽器もそろっているのので、個人練習でもレッスンでも、お客様のご要望次第で自由にお使いいただける

んです。
初谷（敬） 音楽教室には講師として私の仲間も集まってくれて、レッスンはもちろん、サロンコンサートのような定期的なイベントも開催しています。私自身空間デザインは気に入っていて、外からスタジオ内の様子が見えるし、意図的に外へ音をこぼれさせることもできるので、道行く人に「楽しそうだな、ちょっと寄ってみたいな」と感じてもらえたら幸いです。
鶴久 今は個人でイヤホンから音楽を聞くのが普通ですけど、昔は町の中で音楽が漏れ聞こえてくことも多くて、それで今の流行がわかったり、友人との話の種になったりするんですよ。
初谷（賢） わかります。私はちょうど小学生のときにチェッカーズが流行していてサックスに憧れを抱きましたし（笑）、音楽には世代や国境を越えて人を結び付け、幸せにする力があると思います。そしてそれが、私がやりたいまちづくりと非常にリンクするんです。

皆がワクワクできる場所を日本中に

鶴久 まだスタートして間もないですけど、今後はどんなふうにこのスタジオを発展させていきますか？
初谷（賢） ここ目白を皮切りに、「M-Lab HATCH」のような拠点を日本全国に増やしていこうと考えています。皆がワクワク

できる場所を増やし、それをリアルでも SNS でも発信し続けるつもりです。
初谷（敬） 数年前のコロナ禍で、私たち音楽家は本当に大変な思いをして、人や世の中とお金ではなく心でつながることの大切さを改めて感じました。この度、こういう場所ができたことで、新しいこともどんどんやれると思いますし、仲間を集めて元気に楽しく活動したいです。
鶴久 兄が場をつくり、弟が行動する——お話をうかがっていると、お二人はまさに理想のコンビだと感じます。
初谷（賢） そう言っていただけると嬉しいです。確かに私は固定観念にとらわれず“ゼロイチ”で新しい発想を生むことが得意かもしれません。そして、それを実現するのが弟なんです。
初谷（敬） 兄はやりたいことがたくさんあって、「何それ？」と驚くようなアイデアも思い付くんです。一方の私は徹頭徹尾、現場で生きている人間なので、兄のアイデアや思いを周囲の仲間と共有しながら現場で実践していく、そういう役割分担なんだと思います。
鶴久 傍からは見れば突拍子もないようなアイデアが、時代をつくっていくものです。お二人には期待しかないですよ。
初谷（賢） ありがとうございます。これからも音楽の分野に限らず、誰にとってもハッピーな場を創出し続けますので、ぜひ皆と一緒に、ワクワクする未来をつくっていきましょう！

Company Data>>



M-Lab HATCH

M-Lab HATCH
株式会社 Turn On Lab

〒161-0033
東京都新宿区下落合 3-2-17 mf ビル
URL <https://m-lab-hatch.com/>

